九州大学学術情報リポジトリ
Kyushu University Institutional Repository

大学生のリーダーシップ養成方略に関する研究 ： リフレクション活動の効果を中心に

泉谷，道子

https://doi.org/10.15017/1654614

出版情報：九州大学，2015，博士（心理学），課程博士
バージョン：
権利関係：全文ファイル公表済

KYUSHU UNIVERSITY

氏　　名	泉　谷　道　子
論　文　名	大学生のリーダーシップ養成方略に関する研究 －　リフレクション活動の効果を中心に　－
論文調査委員	主　査　　九州大学　　教授　　山口裕幸 副　査　　九州大学　　教授　　加藤和生 副　査　　九州大学　　教授　　中村知靖 副　査　　九州大学　　教授　　増田健太郎

論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本論文は，大学生を対象とするリーダーシップ養成教育において近年重要視されているリフレクションに焦点を当て，リーダーシップの発達におけるリフレクションの役割，効果的なリフレクションの方法について理論的，実証的検討を行い、日本の大学における効果的なリーダーシップ養成の方略について検討した成果をまとめたものである。リーダーシップ養成が盛んな米国での取組みを丁寧にレビューして、リフレクションの重要性に着目し、それを用いたリーダーシップ養成方略の枠組みを構築したのち、この枠組みが日本の大学教育に応用可能であるか検討するため，リフレクションが主要な活動として位置づけられているプログラムを対象に実証研究を行ない，その効果について検討を行っている。また、質的調査と質問紙調査を行って、リフレクションのどのような習慣・方法がリーダーシップの重要な要素である自己への意識に作用するかについて検討を行った。最後に、日本の大学におけるリフレクション活動を用いた効果的なリーダーシップ養成方略について議論し､提言を試みている｡現状の研究における限界と今後の課題も的確に認識されており、今後さらなる研究の発展が期待される。これらの研究の成果は、学会においても高く評価されており、研究テーマは心理学としての学術的価値の高さのみならず、大学教育における重要課題の解決に向けて有益な実践的提言につながるものとしても評価できる。よって，本論文は博士（心理学）の学位に値するものと認める。